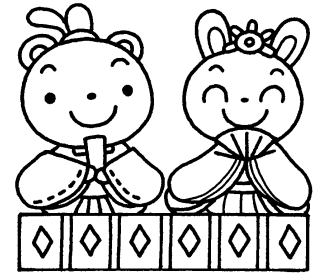




いすぐみだより

社会福祉法人尚徳福祉会 生麦保育園

2020年度 3月号



少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。今年度はコロナウイルス感染症の影響もありましたが、無事に過ごすことが出来、いよいよ来月からうさぎ組へと進級です。子ども達は身体的な成長はもちろんのこと、心の面でも大きな成長が見られ身の回りのことを自分で行ったり、友だちとの関わりでは自分の気持ちを言葉で伝えたり相手の気持ちに気付いたり出来るようになってきました。子ども達の成長を大事にし、安心して進級出来るようにしていきたいと思えます。



まめまき

2月2日(火)、保護者の皆さんにもお話した通り節分のまめまきを行いました。りす組みんなで作ったお面をつけて歌をうたったり絵本を見たりと節分の話をしていると鬼が登場!!鬼の迫力に怖がり泣いて保育者の後ろにかくれてしまった子ども達。保育者と一緒に新聞の豆を投げて鬼を退治しました。その後みんなでもう一度鬼の箱に向かって楽しく豆まきをして終わりました。この日は「怖かったねー。」と話をしていました。



制作

2月は雪の制作とひなまつりの制作を行いました。雪の制作では、タオルを使ったタンポという技法でポンポンツ!と雪を描きました。折り紙の一回折りをして三角を作り家ののり付けもしました。ひなまつりの制作では、折り紙に子ども達が絵を描きトイレットペーパーの芯にのり付け。お雛様とお内裏様の顔もそれぞれに描き、個性的で可愛い作品が出来ました。



ゲーム遊び

最近りす組では、椅子取りゲームやむっくりくまさんといったルールのあるゲームを楽しんで行っています。みんなルールをしっかりと理解していて、椅子取りゲームでは、椅子に座れずに悔し泣きをする姿が。むっくりくまさんというゲームでは、みんな手を繋いで楽しく歌をうたい、鬼になった時は「がー!」とくまになりきって楽しむ姿が見られます。子ども達の「やりたい!」という気持ちを大事にして残りの期間も楽しく遊んでいきたいです。



成長した子ども達

好き嫌いなく上手にたくさんご飯を食べるようになり、トイレにも進んで行けるようになりました。会話も友だち同士で楽しみとても賑やかです。「自分で!」という気持ちで様々なことに自から挑戦し、達成感から自信に繋がって出来ることが増えました。うさぎ組ではどんな成長を見せてくれるのでしょうか?今から進級が楽しみです。



1年間たくさんのご協力
ありがとうございました!

